

福井サイエンスフェスタ・福井県合同課題研究発表会

参加報告

- ◇期 日:令和7年3月8日(土)
◇場 所:AOSSA(福井県県民ホール等)
◇参加者:本校SS生物部員4名、SS化学部員3名
◇引 率:浮田直美先生(本校SS化学部顧問)

私たちSS部員7名は、福井サイエンスフェスタ・福井県合同課題研究発表会に参加しました。午前中の福井サイエンスフェスタでは、「リチウムイオン電池が拓く未来社会」と題した、2019年にノーベル化学賞を受賞した吉野彰先生の講演があり、大変貴重なお話を聞くことができました。リチウムイオン電池の開発経緯や大変だったことだけでなく、リチウムイオン電池が活躍する未来のことまで様々なことに触れて話されましたが、中でも特に現在の常識にとらわれずに挑戦していくと信じられないことができるという言葉や、これからは地球温暖化対策で日本が貢献していくべきだという言葉が深く印象に残りました。

午後に開催された福井県合同課題研究発表会では、分科会発表とポスター発表の2部門がありました。分科会発表はパワーポイントを用いた口頭発表で、SS化学・生物部員がそれぞれ異なる会場で発表を行いました。化学分野の分科会での多岐にわたる内容は興味を惹くものばかりでした。これまでポスターを用いた発表しか経験したことがなかった私たちは、広いホールでの口頭発表ということもあり少し緊張しましたが、スライドの構成や枚数など、直前まで改良を続けて発表に臨みました。高校生どうしの質疑応答もあり、福井大学の佐々木教授からも助言を頂き、より研究内容に理解を深めることができました。ポスター発表では、SS化学部員は分科会と同じ研究の発表、SS生物部員は分科会発表とは異なる研究の発表を行いました。発表では、多くの生徒が熱心に聞いたり質問したりしてくださって、楽しく発表し議論することができたので、有意義な時間になったと思います。

発表にあたり、今回の福井サイエンスフェスタ、福井県合同課題研究発表会を企画、運営して下さった関係者の皆様、支えて下さった皆様に感謝申し上げます。

